

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	下田 良秀（17）	<p>1. 静岡大学が県東部に設置予定の附置研究所及び新学類の富士市への誘致について</p> <p>昨年12月に静岡大学が20年後、30年後を見据えた目的と目標を定め、静岡大学未来創成ビジョン（以下、「当ビジョン」という。）として、浜松医科大学との法人統合・大学再編のモデルチェンジ案が示された。</p> <p>当ビジョンでは、18歳人口が急激に減少する中、静岡市と浜松市に拠点を置く2大学に再編するのではなく、1つの大学の中に多様な英知を結集し、スケールメリットを生かすことで、静岡県に拠点を置く国立大学として県全域に貢献することが必要であるとされている。また、大学統合に伴う重複業務の一元化により、大学運営の効率化、経費等の削減も図られる。両大学が合意した法人統合・大学再編の構想を尊重し、大学統合の考えを反映させ導き出したものとされている。</p> <p>その中で、将来的に県東部に附置研究所及び新学類を伴う東部キャンパスを置くことが示されており、大学のない富士市において、このキャンパスの誘致に大きな期待が寄せられている。</p> <p>そこで以下質問する。</p> <p>(1) 現状、静岡大学との関係構築や連携等の取組はどのようなものが行われているか。</p> <p>(2) 静岡大学が県東部に設置予定の附置研究所及び新学類の富士市への誘致について、市長のトップセールスを含め、市の取組の状況はいかがか。</p>	市長 及び 担当部長